

2024 年度 学校関係者評価委員会 議事録

専門学校 YIC リハビリテーション大学校 会議室
2024 年 6 月 26 日（水） 15：00～16：30

出席者：外部委員

- A 委員 専門学校 YIC リハビリテーション大学校 保護者
- B 委員 専門学校 YIC リハビリテーション大学校 理学療法学科卒業生
- C 委員 専門学校 YIC リハビリテーション大学校 作業療法学科卒業生
- D 委員 有識者 理学療法士
- E 委員 有識者 作業療法士

出席者：学内

- H 校長
- I 副校長
- J 事務長
- K 教務
- L 理学療法学科長
- M 作業療法学科長
- N 学校関係者評価委員会担当

1. 校長挨拶 (H)

本日はご来校いただきましてまことにありがとうございます。最近の本校の状況としては昨年度からコロナでの制限というのがなくなり校内でのイベントが徐々に復活しました。今年の 3 月に 4 年ぶりに国際交流を行い教員・学生が韓国の姉妹校のほうへ行って参りました。他にもいくつかのイベントは復活したが際波祭がまだ復活していない状況です。学生間のノウハウの伝承、引継ぎがうまくいっていないためではないかと思うが、今年度は開催する予定です。

近頃は学校運営、学校教育ということを常に工夫、改善をしていくことが求められている。そういう意味でも外部の皆様からのご意見をいただけるのは非常に貴重な機会だととらえています。どんなことでも結構ですのでご忌憚のない意見をうかがわせていただければと思います。本日はよろしくお願いします。

2. 学校関係者評価委員会自己紹介

3. 定足数確認、委員長の選出 (I)

定足数確認。委員 11 名、過半数以上の出席により本会議は成立する。

委員長に D 委員、副委員長に E 委員を推薦。全員の賛同により承認された。

4. 議事 (D 委員長, E 副委員長)

(1) 2023 年度の報告

①2023 年度自己点検評価結果の検証 (L) ・・資料 2023 年度自己点検・評価報告書

1.評価項目は昨年より追加・変更し、時代に合わせた項目としている

2.評価が「1」～「3」の項目について説明

3.課題と今後の改善方策について説明

<質疑応答>

教育活動

3 – 2 – 3 について

E 委員 前回コマシラバスの取り組みがあったようだがその経緯について説明してほしい
そして今後どうしていくのか

I 十数年前、当時の職員はコマシラバスを作っていたが、その後改変になり授業の担当が変わり、昔のデータは残っているが現在はコマシラバスを作っていない状況です。
今後質保証や教育効果のみえる化など文科省からモデルケースとして提示されるようになってきている。全専各から推奨フォームがあるのでそこに入力していく作業を今はまだ努力義務だがしなさいというふうになると思う。そこに向けて準備、情報収集をしているところです。
我々が共有している課題のひとつでもあり、今年度もしくは次年度には取り掛かる予定とします。

3 – 2 – 9 1 について

E 委員 学生の通学の手段の割合は把握されているか。

J 3 分の 1 が車を利用して駐車場の利用を許可している、後は電車を利用、ちなみに自転車置き場があるが十数台常時停まっている状況です。

E 委員 自転車で通学している学生もいるので交通安全教育の機会を作るいいと思う。

I 学生の交通手段がばらばらなためなかなか難しい。当校は駅が近く JR から裏道を通って歩いてくるので車とほとんど接触することがないため今後も行う予定はない。
それよりも AED や救命等の講習を 2 年生とするようにしている。

E 委員 そのような理由であれば大丈夫です。

D 委員 今、ヘルメットの着用が義務化になってきて高校生 1 年生は全員が着用している状況、これまでもヘルメットの着用を勧めたりはしているか。

I 勧めていない。

H たしかに必要な事だと思う。まだまだ努力義務だと思う。

D 委員 高校 1 年生はヘルメットを義務付けをしている。

H 高校は学校としてそうしていると思う。ただ当校の学生は全員成人しているので今のところ義務付けをしていないが自転車で加害者になるという場合もあるのでしっかりと交通安全については伝えていこうと思う。

3－2－6 1のついて

- D 委員 教科書の総額が学年によってばらつきがあるというがどのようなばらつきなのか。
システム的な事でばらつきが生まれているのか。
- K 教科書のばらつきについては実際に履修する学年の科目数に合わせている為、科目数が多いと教科書が増えてしまう。
金額についても過去に比べると教科書のカラーや写真などがありそもそも単価が上がっている。従来からの安価なテキストを使うと価格の変動はないが版が変わりカラーになり写真が増えるので若干値が上がったりする。また、取り組み状況によっては負担感が変わる。

学修成果・教育成果

4－4－1 4－4－2 4－4－3について

- B 委員 毎年評価が下がってしまうところだと思うが今まで卒業した人たちを把握するのはかなり難しいと思う。自身の周りの人たちはある程度把握できているが全然わからなくなってしまった人たちは探しようがない。今後卒業していく学生たちは必ず追うことができるようなシステム作りをしたいと思う。やはり卒業してすぐの卒業生はある程度把握できるが3年ぐらいするとわからなくなる。同窓会に連絡してほしい旨をメールなどで発信しているがやはり半分ぐらいは分からなくなる、同窓会でも考えていきたいが学校とも一緒に対策を考えていきたいと思う。
毎回評定が下がってしまうので、今後評価があがるような工夫をしていきたい。
今後の同窓生たちをしっかりと把握できるようにしたいとは思っている。個人情報等もあるのですべてを把握するのは難しいとも思っているが、そのあたりをどのようにしたらいいかと思っている。

- I ある程度個人の自由もある。同意がないため同窓会に入らない人がいるがそれは選択しない自由もあるのである程度仕方ないことだと思う。
ただ本校の場合は他のグループ校に比べて医療系のため横のつながりがある。また同窓会も年に1回研修会を行っているということもあり卒業生と連絡が取れている方だと思う。
しかしこういう項目に関してはどうしても評定が下がってしまう。
これが劇的に改善することはできないと思う。

- H 難しい問題で同窓会内でも苦労させていると思う。特に県外に行ってしまった学生など。就職してからの定着率の把握をすることが重要だと思っている。この学校だけの問題ではなく医療系の学校ではよくある。看護学校でもいつのまにか消息が不明の人が結構いる。
どんな方法で把握していくのか同窓会と連携させていただきたいと思う。

- B 委員 この項目がなくなることはないか。

- I 全国専門学校各種連合会のフォームになるため項目自体は残り続ける。

- K 学校の一つの認可の為にこの評価を完成させていくことが認可を受ける条件となるため項目を外すことはできない。

- B 委員 4点の評価をとっている学校が気になる。

- I 新しい動きとしては今年度から本校に在籍している卒業生の教員は同窓会の活動に全員参加し

- てもらうようにした。
- L 全員は難しいと思うがかなり把握できているほうだと思う。
700人くらいの卒業生の中で把握できていないのが100人いるかいないかである。自身も2期生だが8期生から関わりがあるので声をかけたり人伝いに把握している。
- E委員 この項目は定着率を把握したりしてなんらかの意義がある項目だと思う。
他校に聞いた話だが転職をして理学療法士を辞める人がいると聞いているがこちらの学校は把握をしているのか。
- M 一定数はいる。同窓会の名簿や案内に関しては職場がないので自宅に発送している
- E委員 職務団体として働く上で条件があっているかなど懸念している課題である。条件が厳しいとか昇給がないなどの声があれば職務団体に教えてほしい。
- I 稀に聞くが増えている感じではない。本人たちが別の業界のスキルを身に着けたいなどがある。
- E委員 特別何かあるわけではないか。
- I 昨年度は円安の為お金を貯めるためにアルバイトで留学をした卒業生が2人いた。
理学療法士をしながら宅建をとり不動産業をしている卒業生もいる。理学療法士の賃金が低いとかではなくそういう卒業生は目指している金額が違うためと考える。
理学療法士ではなく施設経営をしている卒業生もいる。
ただ皆がきちんと報告してくれるのでこちらも把握できている。
- M 作業療法士の資格を持っている卒業生で全く違う職種に転職した卒業生はいないと思う。

4-4-1について

- E委員 転職を考えている卒業生が来校した場合、求人情報などをみせて対応しているか。
- L 転職、新しい職場を探している卒業生がいる場合は相談に来たら学校に届いている求人票はすべて閲覧できるようにしている。また、人伝いに聞いた求人情報も教えてている。
- I グループでは卒後10年は保証すると掲げているが本校の場合は永久保証で対応している。
- M ただ学校に来る求人は新卒の求人が多いため中途採用の情報は少ない。
- I 転職情報サイトを利用している方が多いので昔に比べて直接的な転職の相談が減った気がする。

①について、全員一致で承認した。

②2023年度学科報告(M/N)・・資料 2023年度学科報告資料

- <質疑応答>
- D委員 合格しなかった3名はもともと難しかったのか、それとも国試問題の難易度が高かったのか。
- M 国試の難易度は全国の平均点をみるとそこまで高くなかった
不合格だった3名に関しては我々の教育力が不足していたのかもしれないが精神的に不安定だったりクラス内の人間関係に悩み勉強に集中できなかった学生やそもそも学力が伸びきらなかった。
- B委員 中途退学者は単位が取れずに退学したのか、それとも途中の進路変更なのかどちらが多いのか。
- M 大体の学生は学力不足で留年か退学をしている学生が多い。

- B 委員 作業療法士、理学療法士になりたくなくて辞める学生よりも勉強についていけなくなつて辞める学生が多いという事か。
- M 勉強についていけない学生をベースにそこまで作業療法士になりたかったわけではないというのである。
- L 理学療法学科の退学者は 4 人とも 1 年生だったが 1 人は最初から学校に登校できなくなり家に引き込もつてしまつた残りの 3 人は全く進路を変えてしまった。
- C 委員 退学率は全国の医療系の学校に比べてどうか。
- I 結構バラつきがあるが目標は 3%。学校によっては全く辞めないところはないと思うが極端に低い所もあれば高い所もある。学年によっても変わってくるので平均というところが正確ではない。医療系という区分ではあるがリハでまとめた数字はみたことない。
- H 退学率ではないが数年前に厚労省が前項で調査を行つたが留年・退学、国試に通らなかつたすべて含めて全国の平均が 25% これは非常に高い結果。当校も退学率は同じぐらい。留年や国試を不合格者を含めると全国平均だが近い数字になる。
そのことを踏まえると全国的に当校が劣つてゐるわけでもないが良いわけでもないと捉えてい る。
- E 委員 1 年生が 4 人退学しているが実習でやめることになったのか。
- L 実習でやめることになったわけではない。
比較的最近の実習は指導も優しいので学生は実習に行くとモチベーションが上がって帰つてくる。
- E 委員 昔は実習がかなりの壁になつてゐたりそのことで留年したり退学する学生がいたので指導方法なども変わつたという事はいい傾向だと思う。

②について、全員一致で承認した。

- ② 2023 年度重点項目への取り組みの検証 (I) ・・資料 2023 年度重点項目への取り組み
重点項目（1）定員充足
重点項目（2）国家試験合格率 100% 達成、国家試験対策教育の充実
重点項目（3）データ管理に関するマニュアル作成（ペーパーレス化、データ整理）
について、資料をもとに説明した。

<質疑応答>

- 重点項目（1）について
- D 委員 インスタのフォロワーがすごく増えたのは何か工夫したのか。
- L 現在フォロワーが 1284、フォロワーが先月から 260 人増えた。
近頃は色々な病院や近隣の飲食店などに“いいね”をしたりフォローをしたりするようにしてい る。そうすると相手からも反応があつたりフォローバックしてくれたりする。
- I 以前はイベントがあつた時だけアップしていたのを昨年度から普段の学生の姿を文字や動画を 交えて編集してアップするようにした。
教員間でも習慣づけてインスタをアップするようにするとフォロワー数が増えてきた。

ただ高校生に響いているかは分からない。

多種スポーツ団体、県内の部活団体をフォローしている。

D 委員 毎年授業をするたびに作業療法士を目指した理由を聞いている。今年の2年にも聞いたところオープンキャンパスに来て学校を選んだと言っていた学生が半分ぐらいいた。臨床にいる作業療法士の姿を見てなろうと思った学生やインスタを見て楽しそうだと思った学生もいる。昔は半数ぐらいが親の勧めで目指していたが、今は自分で選んできている学生が多くなった印象。伝わるいろんなコンテンツがあると良いなと思う。地域貢献や高校訪問で変わってきていると思う。

D 委員 リクルートの研修を受けて何か違うか。

I リクルートはビッグデータを持っているので高校生の動向をよく知っている。

OCなどに来た学生の情報や県内の動向は分かるがリクルートは中国地方、全国の事を教えてくれる。今年の1年生の人数が全国的に減っているためいろんな学校が定員割れした情報等を教えてくれる。

重点項目（2）について

E 委員 スマコクの利用率、成果はいかがか

L 利用率は昨年度4年生から導入をはじめ今は全学生に使用するように強く促している。相関としては活用しないよりは活用したほうが良かったぐらいの程度にしか今のところ分かっていない。

H 現実問題としてこのアプリをいれたから受かるようなものでもない

なかなか相関となると難しいアプリがきっかけで合格した人もいると思うが

個人的なことだが通らなかった人はどういう理由ですかという質問があったが、学内で不合格の可能性が高い学生を早めにピックアップして大体11月ぐらいに個別指導をかける。その情報を全教員に共有してもらい学生をピックアップする。その中で国試不合格者は両学科合わせて3人。だいたいその倍ぐらいの人数を指導している。逆に言うと国試不合格者はその中に入るのでそこを見る目はあるが合格まで達していないのが現状。

ただその学生をみていると自己責任だろうと思うことがある。やる気がない、お正月も遊んでいるなどそういう学生のモチベーションをあげるかが最終的に国家試験の合格率につながる。

全体のレベルを上げる最後のところでなかなかうまくはいかないと思っている

スマコクはないよりはあったほうがいいだろうと思う。

③について、全員一致で承認した。

(2) 2024年度の計画

●2024年度重点項目について (I)・・資料 2024年度重点項目への取り組み

重点項目（1）定員充足

重点項目（2）国家試験合格率100%達成、国家試験対策教育の充実

重点項目（3）データ管理に関するマニュアル作成

資料をもとに説明した。

<質疑応答>

重点項目(1)について

B 委員 今年、理学療法士会で「みらい Walkers UBE」という中学生に職業体験をしてもらうイベントに企業側で参加した。

参加してみてとても良いと思った。参加した中学生から未来の理学療法士が出てくるかもしれない。今後もこういうイベントがあったら県士会として参加したいと思った。

I 山口県でも「やまぐち未来のしごとフェスタ」というイベントを行っている。

学校ブースと専門職ブースに別れて紹介をしているそこから OC などの参加に繋げていけばいいなと思う。

B 委員 受験をしてくる学生は入学の受け入れをすべてしているのか。

そうならばこの国試の合格率はすごいと思う。

敷居が低い所で入学させているのに合格率 90%までもっていくという事は先生方の指導の仕方がいいからだと思う。

H ただそういう状況になればなるほど教員の負担は増えていると思う。

I 入学をしてみないと素行の良し悪いは面接では分からぬ。よほどの事がない限りは全員合格にしている

1 年生は素直な学生が多いので 1 年の頃から学習の癖をつけてほしいと思っている。

E 委員 4 年制学校の強みとは。

I 4 年制 3 年制の違い、大学と専門学校との違いなどを OC の資料に記載している。高校訪問用に高校の先生用にも配布物を作成している。

E 委員 高度専門士を持っていると大学院も受験ができるようになる。そのあたりもアピールしていくと良い。

I 実際に本校で大学院に行っている教員もいるのでアピールしやすい。

重点項目(3)について

D 委員 DX について実習指導者会議等の出欠席について他校は QR コード等でやり取りをすることが増えたが Y I C はどうか？

M 実習指導者会議そのほかの実習系アンケートなども当校は紙で実施していることもあるが今年度ぐらいを目処に電子媒体での回答を計画している。

2024 年度重点項目について、全員一致で承認した。

(3) その他

<質疑応答>

A 委員 最近子供との会話によく出てくる話が 1、2 年は座学が多くあまり面白味を感じられない授業が多くあったが 3 年になり実技との組み合わせの授業になり基礎があっての応用で繋げていく勉強が多くなった。勉強は大変だが繋げていく楽しさを感じているよう、先生方の指導に感謝している。

4. その他 (F)

- (1) 学校の年間予定について
- (2) 学校パンフレット・募集要項・年報について
Web 出願を行う事を説明した。

以上

議事録作成者:N